

特定非営利活動法人日本放射線腫瘍学研究機構 (NPO-JROSG)

2012年度 第6回理事会議事録

1. 開催日時：2013年4月14日（日） 14：00～15：15
2. 開催場所：パシフィコ横浜 会議センター4階 422室
3. 出席者（委任状） 理事13名 監事1名
理事：三橋 紀夫理事長、秋元 哲夫副理事長、小口 正彦副理事長、加賀美 芳和、古平 毅、鹿間 直人、高橋 健夫、戸板 孝文、永田 靖、西村 恭昌、早川 和重、播磨 洋子、前林 勝也
監事：池田 恢
4. 欠席者 監事1名 山下 孝 ※敬称略 五十音順
5. 審議・報告事項
 - (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
 - (2) 第二号議案 庶務報告
 - (3) 第三号議案 会費の納入状況
 - (4) 第四号議案 現在進行中の臨床試験
 - (5) 第五号議案 2012年度中間会計報告
 - (6) 第六号議案 海外出張支援
 - (7) 第七号議案 JCOGとの協調について
 - (8) 第八号議案 JROSG10-3事務局・データセンター業務の円滑化について
 - (9) 第九号議案 委員会報告
 - (10) 第十号議案 理事ならびに監事の改選
 - (11) 第十一号議案 副理事長と教育・広報委員長の交代について
 - (12) 第十二号議案 総会の日程について
 - (13) 第十三号議案 その他
6. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 第一号議案 議長ならびに議事録署名人の選任
議長に三橋理事長、議事録署名人に播磨理事、前林理事を選任した。
 - (2) 第二号議案 庶務報告
 - ・ 3月31日時点で正会員251名（うち住所不明1名）、賛助会員14社、2012年度個人会員入会者11名、個人会員退会者5名（うち除名2名）、賛助会員入会1社（メルクセローノ株式会社）、退会1社（ブリストル・マイヤーズ株式会社）と報告された。
 - ・ 参加施設数は3月31日時点86施設で、2012年度より2施設増と報告された。
（入会：埼玉医科大学総合医療センター、鳥取県立中央病院、宮城県立がんセンター / 退会：会津中央病院）
施設選定委員会委員長の早川理事より、4月に入り山口大学医学部附属病院も新た

に参加施設として登録されたことが報告された。

- ・ バナー広告は 6 社で前年度と比べて増減なしと報告された。

(3) 第三号議案 会費の納入状況

- ・ 定款第 9 条 (3) に基づき 3 年以上会費未納の会員について、6 月 30 日までに会費の納入がされない場合、会員資格の喪失となることが確認された。
- ・ 未納者全員に 6 月 30 日までに 2012 年度の会費を納入していただく為、督促状を送付するよう事務局に指示が出された。特に未納 3 年の 1 名には、6 月 30 日までに会費納入が無い場合、会員の資格を失う旨を記載して会費請求をすることとし、承認された。

(4) 第四号議案 現在進行中の臨床試験

現在進行中の臨床試験が報告された。

(5) 第五号議案 2012 年度中間会計報告

三橋理事長より中間会計報告が行われ、承認された。

(6) 第六号議案 海外出張支援

2012 年度第 1 回目の応募者は無く、4 月 1 日から 4 月 30 日まで第 2 回目の応募を受け付けていることが報告された。

(7) 第七号議案 JCOG との協調について

秋元副理事長より以下が報告された。

- ・ 本年 2 月に JCOG と JROSG との協力について JCOG 関係者と話し合いを行った際、連携窓口の設置案が出た
- ・ 具体的な組織の構成については近々運営委員会で検討する予定であり、決まり次第、メールで理事の先生方にご審議いただく
- ・ 現在、若手の JCOG メンバーがプロトコルを作る勉強会を行っているが、十分ではない為、JROSG が組織としてサポートする方向で話を進めている

三橋理事長より、先日の高精度放射線治療研究会のあとに若い放射線腫瘍医のためのプロトコル作成勉強会を行った京都府立医科大学 中村 聡明先生 (JROSG 正会員) をサポートする為に、京都府立医科大学に JROSG 施設会員となっただけよう依頼する予定である旨が報告された。

(8) 第八号議案 JROSG10-3 事務局・データセンター業務の円滑化について

JROSG10-3 事務局の井口治男先生より、京都大学での事務局マネジメント整備で、データセンターの一部機能拡充を進めたいという申し入れがあった。JROSG では九州がんセンターの下川先生にデータセンター業務を依頼しているが、本件については京都大学でデータセンター業務を行うことが承認された。

(9) 第九号議案 各種委員会報告

【運営委員会】

- ・ メール配信、ホームページ更新、海外出張支援事業、研究会での特別講演の企画を行なったことが報告された。
- ・ 今年も研究会で特別講演を行う予定であること、並びに理事・監事の改選選挙を行う予定であることが報告された。
- ・ JASTRO と共同で教科書を出版し、雑誌「内科」に書評が掲載予定であることが報告された。JASTRO 並びに JROSG のホームページにも書評を掲載できるか出版社に確認することとなった。

【教育・広報委員会】

- ・ 第十一号議案 副理事長と教育・広報委員長の交代についてを教育・広報委員会からの報告とした。

【効果・安全性評価委員会】

- ・ JROSG 10-1、10-4 並びに 12-1 が改訂承認されたことが報告された。

【臨床試験審査委員会】

- ・ JROSG 10-2 について、プロトコル再提出依頼中であることが報告された。
- ・ JROSG12-1 が 2013 年 1 月 9 日に理事会承認となった旨が報告された。
- ・ データセンター業務をご依頼している下川先生に、研究会でご講演を依頼することを運営委員会にて検討することが提案された。
- ・ 下川先生への委託費用については現在無償であるが、今後検討していくことが承認された。

【施設選定委員会】

- ・ 佐久総合病院は鹿間理事の異動後、施設担当者となる常勤医が不在の為、参加施設から抜けることが承認された。
- ・ 連絡の無いまま施設担当者が不在となっている施設があると考えられる為、参加施設一覧のリストを PDF にして会員へメール配信し、担当者の変更が無いか確認するよう事務局へ指示が出された。

【脳・神経系腫瘍委員会】

- ・ 予後不良因子を有する GBM の短期照射の試験に関しては、IMRT のばらつきなどを確認するために、まずは数施設で pilot 的に開始し、その上で多施設臨床試験を検討することが報告された。
- ・ 脳転移に関する全脳照射+定位照射の臨床試験は、Neurocognitive function の検討を含め、まずは pilot 的に数施設で試行してから、多施設プロトコルを検討予定であることが報告された。

【肺・縦隔腫瘍委員会】

- ・ JROSG07-1 が試験中止となり、日本医学放射線学会にて発表されたことが報告された。
- ・ JROSG 10-1 について、進捗状況が報告された。
- ・ JMTO PC-30 について、JMTO の資金不足の為に JROSG 内で検討中であるが、下川先生にデータセンター業務を依頼することが可能かどうかを確認することとなった。
- ・ 新規臨床試験として 2 件、プロトコールを申請予定であることが報告された。

【泌尿器腫瘍委員会】

- ・ 「前立腺癌術後 PSA 再燃（再発）に対する救済放射線治療及びアジュバンド術後放射線治療に関する調査研究」について、詳細は 2012 年 11 月の JASTRO、2013 年 2 月の Genitourinary Cancers Symposium、2013 年 4 月の ESTRO 等にて発表、または発表予定であることが報告された。
- ・ 2012 年第 1 回海外出張支援事業で応募が無かった分の補助金 15 万円を、Genitourinary Cancers Symposium でご発表された溝脇尚志先生（京都大学医学部附属病院）に支給する案が承認され、後日、溝脇先生に確認することとなった。
- ・ 「膀胱癌に対する放射線照射後の予後に関する調査研究」について、2012 年 10 月の日本癌治療学会、11 月の RSNA で発表したことが報告された。
- ・ 「前立腺癌放射線治療における抗凝固薬、抗血小板薬の内服症例の直腸出血の頻度の研究」について、現在、コンセプトを作成中であることが報告され、介入試験でないため、コンセプト提出は必要ないことが確認された。

【頭頸部腫瘍委員会】

- ・ JROSG 10-3 lateT2 および early T3N0M0 声門癌に対する TS-1 併用化学放射線療法の効果と安全性に関する研究について症例登録が現在 1 例であることが報告された。
- ・ 原発不明癌の調査研究に関して、54th ASTRO meeting 及び昨年の JASTRO にてポスター発表を行った事と、今年の頭頸部癌学会の演題登録に関して JROSG 部位別委員以外の発表者、共同演者の扱いについて、一定のルールを設ける必要があることが確認された旨が報告された。また、論文化に向けて準備中であることが報告された。
- ・ 頭頸部癌照射野内再発症例に対する再照射に関する調査研究について、今年度の JASTRO への演題登録に向け解析中であることが報告された。
- ・ 企業サポートの医師主導臨床試験のセツキシマブ観察研究の協力申し入れがあり、今後どのようにプロトコールを作るのか、会員不在の施設の登録をどうするのか等を検討していくことが報告された。

【乳腺腫瘍委員】

- ・ JROSG 05-5 について、今年の ASTRO 年次総会に演題応募していることが報告さ

れた。

- ・ 以下の研究につき施行を検討したが、研究として行うことを断念したことが報告された。
 - 1) 乳房インプラント挿入例に対する放射線療法の安全性に関する前向き臨床試験
 - 2) 乳房照射と内分泌療法の併用の前向き調査
 - 3) 放射線治療の不安調査
 - 4) 全乳房照射の照射技法による治療効果の検討
 - 5) 他治療不応の切除不適応進行癌に対するタキソテールを併用する乳房照射の試験
 - 6) 脳転移の予後を予測する Modified RPA system の全脳照射の群での有用性調査

【悪性リンパ腫・血液腫瘍委員会】

- ・ 造血幹細胞移植前処置としての全身照射の対象疾患および照射方法の全国調査および晩期有害事象の前向き調査について、継続中であることが報告された。
- ・ 胃悪性リンパ腫に対する放射線治療の照射方法についての検討および手引き書の作成について、検討中であることが報告された。
- ・ Involved site radiation therapy についての検討および手引き書について、審議予定であることが報告された。

【消化器腫瘍委員会】

- ・ JROSG12-1 について、症例を 1 例登録したことが報告された。
- ・ 食道癌に対する（化学）放射線療法の治療成績（2004 年 1 月～2008 年 12 月）：施設間較差に関する研究について、前回調査から 5 年以上経過したので、再度同様の outcome 調査を行っていることが報告された。

【婦人科腫瘍委員会】

- ・ JROSG10-4 について、登録期間を 1 年延長し、現在 37 症例が登録されていることが報告された。また、今後全会員へメールで参加を呼び掛けることを検討していくことが報告された。
- ・ 子宮頸癌治療後の QOL に関する全国調査-放射線療法群と手術療法群の比較-（平成 22・23 年度 JASTRO 課題研究班との共同研究）について、現在 92 例が登録されていることが報告された。

【緩和医療委員会】

- ・ JROSG11-1 について、現時点までに 5 例の登録があるが、参加を増やすよう呼び掛ける予定である旨が報告された。
- ・ 神経障害性疼痛に関する放射線治療について、検討中であることが報告された。
- ・ 日本緩和医療学会の「患者・家族のためのがん疼痛治療ガイドライン」の作業部会部員の公募に関して、雄志を募って作業部会に積極的に関与していくこととしたが、作業量が多い場合には、緩和グループのメンバーで作業を分担して、社会貢献を目

指すこととした旨が報告された。

(10) 第十号議案 理事ならびに監事の改選

- ・ 理事・監事選考の実施について公告が提示された。6月28日締切にて立候補を受け付ける旨が報告され、承認された。

(11) 第十一号議案 副理事長と教育・広報委員長の交代について

- ・ 小口副理事長より、多忙につき役職を辞退したいとの希望を頂いたが、任期があと2か月の為、任期満了までのご留任をご承知いただいたことが報告され、承認された。

(12) 第十二号議案 総会の日程について

- ・ 2013年度第1回理事会（新旧理事会）は2013年7月27日（土）10時から東京女子医科大学病院 総合外来センター 中会議室（5階）にて開催予定。
- ・ 2013年JROSG総会・研究会は2013年7月27日（土）13時から東京女子医科大学病院 総合外来センター 大会議室（5階）にて開催予定。

(13) 第十三号議案 その他

- ・ ホームページに関する企業からの提案事項があった為、今後、運営委員会にて検討することが報告された。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2013年 5月 23日

議長

三橋 紀夫



議事録署名人

播磨 洋子



議事録署名人

前林 勝也

